

ぜん息のあるこどものための アメフト教室を開催しました！

気管支ぜん息の市内在住の小学生の方を対象に、運動をするきっかけづくりとぜん息についての知識普及を目的として、かわさきスポーツパートナーの富士通フロンティアーズに協力いただき、アメフト教室を令和7年3月1日に開催しました。

ぜん息は、継続して治療を続けることが必要な慢性疾患ですが、適切な治療と自己管理により症状や発作が抑えられ、通常の日常生活を過ごせるようになります。

今回の教室では、医師による診察と、子どもたちへのぜん息の講話のあと、医師・看護師が見守る中、2名の子どもたちがフラッグフットボール（アメフトのルールをもとに安全に楽しめるよう工夫されたスポーツ）にチャレンジしました。

フラッグフットボールの講師を務めたのは、RB#21 ^{みやけこうき}三宅昂輝選手、LB#51 ^{やまだあつや}山田敦也選手の2名です。特に山田選手は子どもの頃にぜん息患者だった経歴があり、自分自身の経験も振り返りながら、やさしく丁寧にフラッグフットボールを指導いただきました。

参加した子どもたちは「みんなでワイワイできた」、「タックルできて楽しかった」、「とても貴重な体験だった」と嬉しい感想を寄せてくれました。



選手と一緒にぜん息について学習



選手へ向かってタックル練習



フラッグフットボールに挑戦！



全員で記念撮影

【開催概要】

1 日時

令和7年3月1日（土） 12:00～14:25

2 場所

Fujitsu Technology Park（川崎市中原区上小田中4-1-1）
グラウンド

3 内容

- ・医師による運動前の診察 ・ぜん息についての講話
- ・富士通フロンティアーズによるアメフト教室

4 参加者

児童2名、保護者3名

（気管支ぜん息等の治療を継続中、または過去にぜん息の診断を受け経過観察中の市内在住の小学生）

協力：富士通フロンティアーズ

FRONTIERS



© Fujitsu

問合せ先：

川崎市健康福祉局保健医療政策部環境保健・アレルギー疾患対策担当 弓田
電話 044-200-2486